

平成14年1月12日

日本学術振興会  
プロセスシステム工学第143委員会  
委員長 小野木 克明

プロセスシステム工学第143委員会

第136回委員会・平成13年度第5回研究会 開催通知

(143委員会ホームページ <http://jsps143.pse.nuce.nagoya-u.ac.jp/>)

1. 日 時：2002年2月8日（金） 13:00～17:00 委員会・研究会  
17:00～19:00 懇親会
2. 場 所：弘済会館 （東京都千代田区麹町5-1／電話：03-5276-0333）  
（交通：JR中央線・地下鉄丸の内線「四ッ谷駅」下車徒歩3分）
3. 委員会：(13:00～13:10)
4. 研究会：(13:10～17:00)  
13:10～13:40 ワークショップNo.22「離散事象システムとしてのバッチ制御システムの設計」報告  
名古屋大学 小野木 克明 委員  
  
13:40～14:10 ワークショップNo.23「化学プラントの安全性・信頼性の定量的評価を目指して」報告  
九州大学 柘植 義文 委員  
  
14:10～14:40 ワークショップNo.24「21世紀の生物プロセスシステム工学についての調査研究」報告  
大阪大学 塩谷 捨明 委員  
  
14:40～15:00 常設分科会「ジャパンバッチフォーラム」報告  
名古屋工業大学 伊藤 利昭 委員  
JBFの一年間の活動状況と今後の活動方針について報告する。  
  
15:00～15:20 コーヒーブレイク  
  
15:20～16:20 「最近のPSEの動向」  
京都大学 長谷部 伸治 委員  
PSEに研究対象であった最適設計や最適操作問題の多くは、市販のソフトウェアで解くことが可能になり、化学工学の多くの研究がPSE的思考により行われるようになってきた。また、計算機利用もPSE研究者の独断場ではなくなった。このような状況で、PSE研究者は何を目指すのか。設計、制御、管理に関する最近のPSE研究の流れから、今後の方向を考えてみたい（総合討論の肴になれば幸いである）。  
  
16:20～17:00 総合討論
5. 懇親会：(17:00～19:00)

<追記>

準備の都合がありますので、出欠を裏面にご記入の上、1月31日（木）までにご回答下さい。  
懇親会につきましては、会費5,000円を当日申し受けます。

[送信先]

名古屋大学工学研究科 分子化学工学専攻 小野木 克明 FAX：052-789-3267